

長野県小海町

特産品 鞍掛豆を活用した産業の創出

Iプロジェクト背景

小海町は長野県の東部に位置し、八ヶ岳連峰や千曲川が流れる風光明媚な山間の町、小海町。さとゆめと協働し、都心から離れて等身大の自分らしさを取り戻す「憩うまちこうみ」と称した事業を展開し、Re・Designセラピーというヘルスツーリズムに力を入れています。

夏の冷涼な気候により、白菜、レタス、キャベツなどの高原野菜の生産も盛んですが、生産価格の低迷や高齢化にともない遊休荒廃地が増えるなど、農業をめぐる課題は山積。町では、高齢者でも比較的栽培しやすく、付加価値を持った生産物をと伝統野菜である「鞍掛豆」の栽培を推進しています。

「鞍掛豆」は平らな緑の豆に馬の鞍がかかったような黒い模様がついた特徴的な豆で、一般的な豆よりも糖度が高く、濃厚な甘みを感じることができます。

今後、もっと認知度を上げたく「鞍掛豆」を活用した商品開発など、新たな産業を立ち上げていくフェーズを迎えています。

II目指すゴール

小海町の特産品「鞍掛豆」を活用した新たなビジネスの創出を通じ、まちの農業課題を解決していく好事例を輩出し続けていく。



域外にも通用する商品開発・販路開拓

町としての新たな産業の柱として、特産品の鞍掛豆を活用した商品開発や販路開拓などを行い、農業をめぐる課題を解決していく産業を立ち上げていく。



商品開発/
ブランディング



販路開拓/
マーケティング

III事業パートナー(最終提案先)



小海町 町長をはじめ、鞍掛豆の産業化を目指す地域の方々に対してプランを提案しながら、事業化を目指していきます。地域との協働、事業化に向けた資金やリソース調達は(株)さとゆめが伴走していきます。